

心理職支援ネットワーク 関東地区研修会

学校や職場のハラスメントに、心理職としてどう関わるか

心理職支援ネットワークは、一人一人の心理職を相互に支援する集まりとして 2018 年 12 月に発足しました。公認心理師時代を迎え、心理職が社会にどう役立っていくのか、そのために働き方をどうしていくのかについて、学びを深め意見交換するための研修会第二弾では、個人や組織に大きなダメージを与えるハラスメント（パワハラ・セクハラ・モラハラ）を取り上げます。私たちは、「心理専門職としてハラスメントに関わること」もありますが、「自身がハラスメントにあってしまうこと」もあります。この両者に対応する力を、この問題に長年取り組んでいる実務家の講義と事例検討（体験学習）を通して、養うことを目的とする研修会です。関心のある方の参加をお待ちしています。

日時：2019年11月24日（日）12:45～17:00（12:15～受付）

会場：アットビジネスセンター渋谷東口駅前 503 号室（地図別紙）

対象：心理職、対人援助職、心理職を目指している学生・大学院生

参加費：4500 円（会員・学生 3500 円）

申込先：allpsychologists.network@gmail.com

※ 件名を「関東地区研修会参加希望」とし、ご所属とお名前と連絡先メールアドレスをご記入の上、お申し込みください。

※ 参加費は、関東地区研修会参加費と明記し、以下の口座にお振込みください。

ゆうちょ銀行 口座記号番号：00110-9-588245

加入者名：心理職支援ネットワーク

※：参加者には事前アンケートをお送りしますのでお答えください（匿名・任意）

心理職支援NWアドレス



プログラム

パートⅠ 講義（12:45-14:30）

主催者の趣旨説明と事前アンケートの結果の発表に引き続いて、山内浩美氏（立教大学人権・ハラスメント対策センター）が、ハラスメントについて最低限知っておきたいことと、教育領域におけるハラスメントへの取り組みについてお話しします。続いて、浦田陵子氏（臨床心理士コラボオフィス目黒）が、産業領域におけるハラスメントへの取り組みについてお話しします。最後に、三嶋健氏（川崎合同法律事務所）と岡田裕子氏（きしろ心理相談室）が、法律家がハラスメントをどう取り扱うかをお話しします。

パートⅡ 事例検討（14:45～16:25）

15分の休憩を挟み、提供された事例にどう対応するかを小グループで話し合います。次に話し合った内容を全体でシェアし、それに基づいてコメンテーター（山内・浦田・三嶋・岡田）がコメントします。

パートⅢ 質疑応答とまとめ（16:25～16:55）

司会：岩倉拓（あざみ野心理オフィス）・松森基子（南青山心理相談室）

【講師紹介】

- 山内浩美：立教大学人権・ハラスメント対策センター専門相談員 臨床心理士
「調整」の実践に基づき、大学のハラスメント防止体制の整備を行っている
- 浦田陵子：臨床心理士コラボオフィス目黒代表 臨床心理士
20年以上数社のメンタルヘルス業務の責任者として勤務
- 三嶋 健：川崎合同法律事務所弁護士 日本労働弁護団会員
心理職との協働経験が豊富。心理職支援ネットワーク検証委員会委員
- 岡田裕子：きしろ心理相談室 臨床心理士・公認心理師・元弁護士
法律家と心理職の両方の現場経験あり。今回は橋渡し役として登壇

会場：アットビジネスセンター渋谷東口駅前

◆住所 〒150-0002 渋谷区渋谷 2-22-8 名取ビル 5階

◆JR山手線 渋谷駅 からのアクセス

渋谷駅の東口を出て「渋谷ヒカリエ」方向に進みます（工事中ルートがあります）。エスカレーターを上り、ヒカリエデッキ（2F）を直進して再度エスカレーターで1F（渋谷ヒカリエ入口・15番出口）に降り、左に進むと「銀だこ」というたこ焼き屋があります。「銀だこ」を左に曲がり、20mほど進むと、1Fに「B&D」というスポーツショップが入っているビルがあります。503号室はそのビルの5階です。

